

平成29年度第1回上川町総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成29年6月26日(月)
開会 10時00分 閉会 11時30分
2. 場 所 上川町議会 小会議室
3. 出席者 上川町 町 長 佐 藤 芳 治
上川町教育委員会 教 育 長 中 野 俊 和
教 育 委 員 辻 拓
教 育 委 員 安 藤 智 昭
教 育 委 員 長 井 繁 美
教 育 委 員 阪 本 由 美

事務局 総務企画課長 小 路 枝美子
総務企画課長補佐 久 保 一 敏
総務企画課総務G副主幹 鈴 木 康 雅
教育次長 広 野 嘉 行
次長補佐 館 山 孝 佳
学校教育G副主幹 水 野 英 樹
3. 議事録署名委員の指名について
辻委員、長井委員
4. 協議事項
・上川小学校・上川中学校の学校経営の概要について
5. 議事経過の内容 別紙のとおり

発言者	発言概要
小路課長	<p>只今より、平成29年度第1回上川町総合教育会議を始めます。会議に当たりまして、町長よりご挨拶お願いいたします。</p>
佐藤町長	<p>本年度第1回目の総合教育会議に出席をいただきお礼を申し上げます。今日は、小学校・中学校それぞれの学校経営の概要についてお話をいただき、そのことを総合教育会議委員の皆さんに共有をしていただき、今後につなげて活かしていただければと思っています。</p> <p>本年度は町にとって大変重要な年でありまして、第10次の総合計画、向う10年間の町づくりの指針を策定年次であります。</p> <p>非常に環境やその他の状況が大きく変化していく中、先行きが中々見えない中での第10次総合計画の策定は、大変苦勞しますが、しっかりしたものをつくっていきたい。</p>
小路課長	<p>それでは、只今から議事の進行は町長にお願いします。</p>
佐藤町長	<p>まず、議事録署名委員の指名について、前は阪本委員と安藤委員ということで、今回は辻委員と長井委員でよろしいですか。</p> <p>協議事項に入りますが、上川小学校・上川中学校の学校経営の概要について、小学校の方から説明をお願いします。</p>
藤弘校長	<p>「上川小学校平成29年度学校要覧」に基づき説明</p>
佐藤町長	<p>小・中区分けて協議を行います。小学校の説明に対する質問・ご意見はありませんか？</p> <p>なければ、中学校の説明をしていただき、その後に小中併せて質疑を受けたいと思います。中学校の説明をお願いします。</p>
長谷川校長	<p>「上川中学校平成29年度学校要覧」に基づき説明</p>
佐藤町長	<p>小中学校、併せてご質問ありませんか？</p> <p>学校公開日の説明がありましたが、具体的な内容を詳しく説明してください。</p>
長谷川校長	<p>保護者参観日は、最初は多いがだんだん少なくなる。子供が輝いているところを観に来てほしいということで、呼びかけしている。実際に参観に来てくれたのは少ない。PR方法考えたい。</p>
佐藤町長	<p>参観日の出席状況はどうですか？</p>
藤弘校長	<p>小学校の参観日の出席状況は高いです。95%くらいは来ていただいている。懇談になるとかなり帰ってしまう。</p>
長谷川校長	<p>中学校は学年が上になればなるほど、出席率は下がります。</p>
阪本委員	<p>祖父母の方が参観するとなれば、情報はどう知ればよいですか？</p>
長谷川校長	<p>中学校は地域の方までお知らせしようと思って学校だよりで町内回覧しています。</p>
辻委員	<p>学校だよりを回覧しても、学校行事まではなかなか見ない別紙で配布した方がよい。</p>
長井委員	<p>「かみんぐニュース」は町民が良く見ている。中学校の学校だよりの公は見づらい。</p>

佐藤町長	<p>子供たちの教育は、町民も保護者も学校任せのところがありますね。本当は地域全体で子供たちを見守っていくことが大事ですね。この学校行事の公開日が定着すれば、学校に対する見方が変わってくると思う。</p>
中野教育長	<p>ご提案ありがとうございます。「学校だより」は回覧、「かみんぐニュース」は全戸配布なので町民のみなさんも「かみんぐニュース」の方が見ているのだと思う。公開授業のことは、学校と連携して「かみんぐニュース」に掲載することもできるので検討します。</p>
辻委員	<p>先生方は転勤でいろいろな町村を移動していますが、上川町の保護者の教育や学校、家庭学習に対する考え方は、他町村と比べてどうでしょうか？公開授業にしてもあまり関心がないということなのか…</p>
佐藤町長	<p>その点上川は、他の学校、他の地域と比べて先生方、どうでしょう？</p>
藤弘校長	<p>中学校段階では受験を意識されるので少し違いますが、小学校段階では既に二分化されている。上川の場合は保護者のほぼ9割が町内に勤めていて、1割が旭川勤務であることから、この町ですっと生きていける体制ですね。他の町・高校がない町は中々そうはならない。上川の強みは高校があるから、ゆっくり・のんびり、自然を満喫して育てたいという保護者が半分、上川町は良い町ここで暮らすにしても、一回は外に出て行って大学なり世間を見て帰ってきてほしいから、小さいうちからしっかり勉強させたいという保護者が半分かなと小さいうちから二分されていると思います。どちらかという「上川町で高校まで行ってここで仕事を見つけてここで暮らしてほしい」と思う保護者の方が多いのかなと気はしている。そういう保護者はゆっくり育てたいと思っているのかなと感じます。</p>
長谷川校長	<p>小学校では、「高校までは上川で」と思っているも中学校へ来ると変わりますね。学力向上の取り組みをされていて一番困るのは、力が付いてくると試してみたいという気持ちが出てきて、旭川市内の高校を受験するという状況がある。今年3月卒業した3年生は非常に多かった。保護者については、中学校というのは、忙しいこともありますが、関心が薄れて、参観日の出席は少なくなるというのは、どこも大きくは変わらないと思う。小学校の参観日を見て保護者が多く来ていいなあと思いますが、中学校になると少なくなる。PTA活動についても熱をもってやる地域とそでない地域がある。そこは何が違うのかと思うと、その時の役員をやっている人の意気込みによってちがうのかなと思う。例えば、他の学校では学校祭にPTAのバザーで一学期から今年のメニューはこれにしようと話をしているところがありました。面倒くさいメニューであっても凝っている役員が中心となって「今年はこうしよう、ああしよう」と自分達で楽しみながらやっているところもあったり、そではない代がある。同じようなことをやっても情熱に差がある。その保護者の情熱の差が子供たちにも影響している。情熱をもっている親の多い学年は子供たちもパワーもあるし一生懸命やる。家庭教育が大きく影響していると思います。</p>
佐藤町長	<p>孫から部活動の関係で相談を受けた。部活動と勉強の関係で本人が悩ん</p>

長谷川校長	<p>でいる。部活動で全道大会の出場権をとったが今後部活動を続けるべきかどうか、本人は悩んでいる。進学も学力ギリギリのところを決めている。親からは「もうここまでやったから部活はもういいでしょう。進学の方に集中してもいいでしょう」と言われている。私は「部活の意味合い、今まで頑張ってきたのが何なのか。進学も大事だが、とことんやるべきチャレンジすべき」と自分の考えで言った。藤弘校長から小学校の時から二分化されている話はされましたが、大変難しい課題だと思いますね。</p>
佐藤町長	<p>それはとことんやるべきですね。部活で頑張れた子は受験勉強でも瞬発力がありグイと伸びる。中途半端に部活をやめると、そこに後悔が残り中々勉強に転換できないところがありますね。多くの子供たちはとことん部活動をやって終わったら次に勉強と切り換える。特に部活動で全道大会まで行く実力のある子供であれば、勉強に切り換えていくときに一気に伸びると思います。それでもし失敗しても私の責任ではありませんが…(笑)</p>
安藤委員	<p>そのことが将来どういう道に行くかわからないけど、中途半端でやめた時には絶対後悔するし、校長先生が言われるように、とことんやったことがその後の進学や就職に力になると思いますね。</p>
佐藤町長	<p>(中学校吹奏楽の状況を話す)</p> <p>上川町の地域としての枠が小さくなってきてる。以前は東雲地区、層雲峡地区でも運動会に来賓としても一緒に参加したことなど、地域一体となって行事をやっていた。子供の数も減少し、学校行事も地域行事の一つとして考えても良いのかと思います。</p>
藤弘校長	<p>上川高校も今年は綱渡でしたが、この状況をいつまで維持できるか？かなり厳しくなってくる。地元には高校があるかないかは状況が全く違ってくる。中高一貫でどこまで引っ張っていけるかは限界が見えている。現状を見ると残念ながら地元から進学する生徒が非常に少ないという現状を捉えていかなければならない。将来的には上川高校のあり方は、山岳ガイド養成、観光関係の人材育成、福祉関係等、特化した高校にしていくことも一つの選択肢として町外からも生徒の確保ができる、学校の魅力、存在価値も上がっていくのかとも思っている。今後関係者で議論をしながら方向性を探っていきたい。</p>
佐藤町長	<p>道立高校で特色を出すのは難しい。町立高校であれば幌加内など特色を出していますが。</p>
長谷川校長	<p>音威子府のようなことがどこの地域でもやれるかといえば、中々難しい。道の教育指針、やり方では先行きかなり厳しくなるだろう。画一的、機械的であり数を基準に物事が進められていくやり方で良いとは思わない。地域の状況によっては、高校が一クラスだって良い。地域に特化したあり方も良いと思う。</p>
長谷川校長	<p>旭川市内の中学校は、公立高校を受験する場合、多くが私立高校を併願する。上川中学校の場合、旭川の公立高校を受験する生徒は私立高校を併願する生徒は少なく、受験して落ちた場合は、上川高校の二次募集を受験</p>

するという生徒が多い。上川高校が一間口になれば空きがすくなくなるので厳しくなる。

中高一貫教育の中で、中学校から高校に芸術、音楽と美術の先生が毎週授業に行っている。反対に高校から中学校に不足の教科の先生に授業をしてくれないかというルール上できないことになっている。高校の先生が固定的にやってもらえれば、生徒にとっては「あの先生の授業を受けてみたい」とか、上川高校への志望動機の可能性も出てくる。もう少し中高一貫の授業のあり方とか改善できれば良いと思う。

公立高校の間口減の背景には、私立高校が定員割れしている厳しい状況もある。私立高校と公立高校の兼ね合いなど、色々な事情があり、色々な面でテコ入れをして改善していかないと高校の間口の問題はうまくいかないと思う。

佐藤町長

北海道で初めて中高一貫教育を始めたが、高橋知事には「掛けた梯子を外すようなことはしないでほしい」と言ってきた。ソフトなこと規制面での緩和など今までにないやり方を取り入れていかなければ発展しない。

長井委員

最近新聞で、先生方の時間外労働が増えていると報道されているが、そういう実態だと子供たちが先生と接触できる時間が授業に限られてくると思うが、授業以外で先生と接触することが大事だと思うが、そういう時間はとれていますか？

長谷川校長

中学校の場合、部活動の顧問の中にはオーバーワークの先生はいる。今中体連改革の中で、平日1日休み、土日の内1日休みにしましょうという動きがある。

子供とふれあえる時間というのは、各教科であれば週に3～4時間、授業以外では担任を持っていると朝の会、帰りの会、給食指導、清掃指導等を通じてふれあう時間がある。それ以外休み時間もできるだけ生徒のそばにいきましょうとしている。そういう中で悩み相談等もやっている。やはり部活動の時間が大きい。ただ部活動はやりすぎないようにしなければならないし、法律で規制をする動きになっている。

藤弘校長

小学校の実態は、教員は7時30分から8時ころまで働いている人が多い。先生方を見ると非常にイライラしている先生が多いしそれが子供たちに優しくなれない原因になっている。

この後平成32年度の学習指導要領改定で4年生以上が中学生並みの時間数になると先生方はもっとイライラすることになる。中学校の場合教科制なので空き時間があるが小学校は空き時間がない。来年から業務を見直し仕事の軽減をしていきたい。

長井委員

上川町の場合、少年団活動を地域でやっていただきありがたい。

学校の前を通るといつも職員室が明るいので、上川も残業80時間100時間あるだろうと思っていた。

先生と子供の間で大事なことは、人間性と人間性がぶつかったりよりそ

佐藤町長	<p>っていくことが“ホアーン”とあることが大事なことだと思う。自分も娘も小学校の時の先生に言われたことを大事にしていることがある。そういう時間を持てたのは、先生とワイワイやっている雑談の中でのことです。今の先生方は大変忙しそうで、そういう時間が取れているのか？学校では、授業も大事だが先生の人間性にふれていくことが大事だと思う。</p> <p>学校での部活動含めた授業以外の先生とのふれあい・接触が影響して「よし勉強も頑張ろう」と学力も身につくことに通じていくということが大事だと思う。</p>
長谷川校長	<p>先生と子供たちの距離感はどうなっているか？そうとう離れているのではないか？規制の問題、気になるのは先生方の半分は旭川などから通勤している状況が、子供たちとのふれあう機会が薄くなる、先生方の負担増につながるという悪い状況を生み出していることが気になっている。</p> <p>子供のころは先生の家に行ってふれあったことがいい影響を受けてその後生きていくことができました。</p> <p>今は、「先生の家を生徒を呼ぶな」となっている。大勢で行くのは良いが個人的に行くようになると事件も起きるので、そういう関係はとらないということにしている。</p> <p>教育実習も終了した時は、その後連絡はとらないように、個人情報等も削除するように指導している。</p>
佐藤町長	<p>先生とのふれあいの中で信頼関係にもつながるものがあったが、今は難しくなってきましたね。</p>
長谷川校長	<p>自分のことを語らなくなってきたことも生徒にとってみれば距離感を感じるようになってきているかな。</p>
佐藤町長	<p>予定の時間になりましたが、他に皆さんから何かありませんか。 (ありませんの声) なければこれで終了してよろしいですか。 (はいの声)</p>
小路課長	<p>以上をもちまして、平成29年度第1回上川町総合教育会議を閉会いたします。</p>

議事録署名委員

辻 拓

議事録署名委員

長井 繁美